

次号予告

特集 モデリング—最適化モデリング—

モデリング考	伊理正夫 (日本測量調査技術協会)
モデルが見えるとき	森戸 晋 (早稲田大学)
「問題解決エンジン」群とモデリング	茨木俊秀 (関西学院大学)
意思決定支援システムの開発と統合モデリング	野末尚次 (数理モデリング研究所)
数理計画法の実用モデリング	草刈君子 (SAS Institute Japan)
数理計画のためのモデリングツールの開発	山下 浩 (数理システム)
マッチングモデル	田村明久 (慶應義塾大学)
除雪—南国育ち, 雪に惑う—	前田英次郎 (青森大学)
モデリングのための覚え書き	久保幹雄 (東京海洋大学)
シミュレーションモデルのアート性と標準化	相澤りえ子 (構造計画研究所)

編集後記

●今回は毎年恒例となっている「企業事例」の特集です。みなさん既にご存知でしょうが、研究発表会には、実務担当者がORの適用事例について発表する、「企業事例交流会」のセッションが設けられています。今回の特集では、過去の企業事例交流会で発表された内容のいくつかを、新たに原稿としてまとめて頂きました。今回の特集を通して、現実の問題にORを適用する際の苦労や、苦労を乗り越えて問題を解決した時の喜び・達成感が、みなさんにも伝わったのではないのでしょうか。

●今回の特集で紹介した事例をはじめ、実際の問題解決の場面において、ORは数多くの成果を挙げてきています。しかし、社会にはORの適用が有効な問題が、まだまだ沢山残されていると思います。問題の近くに

ORの知識を持った人間が居ないために、解決されずにいる問題も多いのではないのでしょうか。問題と研究者とがうまくマッチングできれば、社会の様々な問題解決の場面において、ORがもっと活用されるようになるはずです。

●先月の特集で紹介した「データ解析コンペティション」は、現実の問題と研究者とをマッチングさせる絶好の機会になっています。こうした機会がより多く提供されるようになれば、ORの有効性を企業にアピールし、ORの実用化と普及がより一層促進される結果に繋がるのではないのでしょうか。私も学会誌の編集委員として、こうした問題と研究者とのマッチングに何か貢献できることはないか、考えていきたいと思えますので、何か良いアイデアなどございましたら、ご連絡をお願いします。(所 健一)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 杉野 隆(国土館大学)

委員 井階美歩(株NTTデータ)、池上敦子(成蹊大学)、大澤義明(筑波大学)、大村弘之(日本電信電話株)、岡田 勇(創価大学)、小沢利久(駒澤大学)、住田 潮(筑波大学)、高橋一喜(東京ガス株)、土屋利明(日本電信電話株)、所 健一(勸電力中央研究所)、中川義之(キヤノンシステムソリューションズ株)、中森眞理雄(東京農工大学)、生田日崇(専修大学)、根本俊男(文教大学)、廣津信義(獨日本スポーツ振興センター)、松村良平(東京工業大学)、三浦英俊(明海大学)、村井雅彦(株東芝)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成 17 年 3 月号 第 50 卷 第 3 号 通巻 531 号

代表者 今野 浩

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 杉野 隆

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970円 (本体 924円) 年間予約購読料 11,040円 (税含)

●本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337) へ